

## 第41回 国際大学オープンセミナー

# 『日本によるチャイナ・プラス・ワン戦略』

チャイナ・プラス・ワンとは、中国に加えてどのアジア諸国が日本経済を活性化させるかを考える戦略のことである。尖閣問題が顕在化してから、日本の経済界は着々と中国からASEANへのシフトを行っている。中国では生産コスト上昇、成長率低下、日中関係の緊張がある一方、ASEANが人口増、2015年の経済共同体発足などを背景に中国の代替先としての位置づけを確保している。

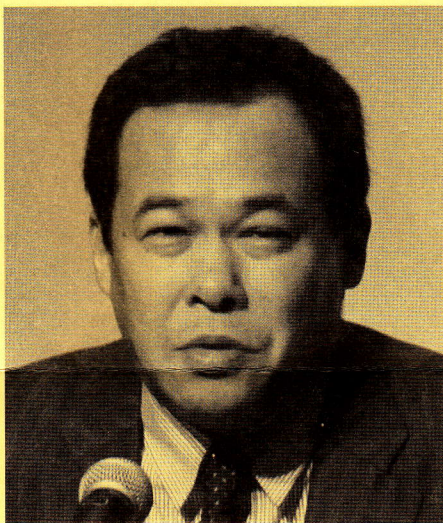
第41回の国際大学オープンセミナーは、伊藤剛 明治大学教授に日本のチャイナ・プラス・ワン戦略の実態についてご講演いただきます。

みなさまの多数の参加をお待ちしております。

### 2014年 3月 11日(火) 18:30~20:00

於 国際大学 MLIC 3階ホール

＜参加無料＞



講師 <sup>い</sup>伊 <sup>とう</sup>藤 <sup>ごう</sup>剛

(明治大学政治経済学部 教授)


#### ＜講師略歴＞

上智大学で国際関係学修士、米国デンバー大学で大学院国際関係学博士を取得。

主な著書に『同盟の認識と現実—デタント期の日米中トライアングル』

(有信堂高文社、2002年)など。

3月7日(金)までに同封の用紙で国際大学研究所までお申し込みください。

主催 /  国際大学研究所